



平成 25 年 7 月 17 日

各 位

会 社 名 テクマトリックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 由利 孝
(コード：3762、東証第一部)
問合せ先 執行役員管理本部長 森脇 喜生
(TEL. 03-5792-8601)

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社が、 SDN ネットワーク構築ソフトの無償提供を開始

記

当社の連結子会社であるエヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社（以下「NCLC」 本社：東京都港区代表取締役社長：関根 尚）が、この度 Pica8（ピカエイト）（Pica8 Inc. 本社：カリフォルニア州）社製のクラウド環境に柔軟に対応できる次世代ネットワーク機器へ NCLC 社製の SDN ネットワーク構築ソフトを無償提供するキャンペーンを開始することを決定いたしましたので、添付のとおりお知らせいたします。

クラウドコンピューティングの普及が本格化し、ネットワーク管理者は複雑かつ頻繁なネットワーク機器の設定変更を行う必要がありますが、Pica8 社製の次世代ネットワーク機器を利用することで、この作業を柔軟に行うことが可能です。一方で、次世代ネットワーク機器の利用は、価格面や高い技術知識を必要とすることから一部の先進ユーザーに限られてきました。この次世代ネットワーク OpenFlow（オープンフロー）スイッチに次世代ネットワークアーキテクチャである NCLC 社製の SDN ネットワーク構築ソフトを無償提供することで、NCLC が培ってきた技術知識を提供し、様々な実証実験や新機能の開発の裾野をひろげ、より一層の顧客利益への貢献を目指します。

NCLC が取扱う Pica8 社製の OpenFlow スイッチは、日本国内でこれまで 400 台以上の導入を数え、OpenFlow スイッチとしては国内最大級の導入実績を誇っております。

以上

2013年7月17日
エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

NCLC、Pica8 社製 OpenFlow スイッチへ SDN アプリケーションの無償バンドルを開始

～ NCLC は大学や専門学校、または、研究機関における
SDN プロジェクトの裾野の拡大と技術イノベーションを推進することを目的とし、
NCLC 開発のオープンソース版 SDN アプリケーションを
Pica8 社製 OpenFlow スイッチへ無償バンドルするキャンペーンを開始します ～

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長関根 尚、以下 NCLC)は、OSS(Open Source Software)ベースで開発された NCLC 社製 SDN(Software Defined Networking) アプリケーションを、同社が販売提携する米国 Pica8 社製の OpenFlow スイッチに無償でバンドルすることを発表いたします。

バンドル開始日は 8 月 1 日となります。また、これまで弊社より Pica8 社 OpenFlow スイッチをご購入されたお客様へも無償提供されます。

NCLC は昨年 4 月の Pica8 社との販売提携以来、400 台を超える Pica8 社製 OpenFlow スイッチを日本国内に導入してまいりました。

この度、Pica8 スイッチに無償バンドルされる SDN アプリケーションは、これまでの NCLC における様々な開発実績をオープンソースとして市場に広めることで、Pica8 スイッチによる SDN の実証実験や試験導入などのプロジェクトの裾野を拡大すると共に、ソースコードをオープンにすることで、様々なカスタマイズや新機能のスピーディな開発といったソフトウェア・イノベーションが広く市場で推進されていくことを目的としています。

「SDN は現在のネットワークの様々な課題を解決する新しいアーキテクチャとして期待されていますが、SDN がコスト的にも機能的にも既存技術を凌駕するリアルな新技術となるためには、もっともっと破壊的な技術イノベーションが起きなければいけません。しかしながら、現実には価格面でのハードルの高さや、SDN アプリケーション開発のための技術知識やマニュアルの普及の遅れ等によって、限られた先進ユーザーによる実証実験に留まっております。オープン・アーキテクチャであると共にコストパフォーマンスに優れた Pica8 スイッチと、オープンソースとしての SDN アプリケーションを普及させていくことで、NCLC はこの現状を打破し、SDN という新技術による顧客ベネフィットの更なる増大に貢献したいと考えます」(NCLC 代表取締役社長 関根 尚)

ONF(Open networking Foundation)のエグゼクティブ ディレクターである Dan Pitt 氏からは以下のようなエンドースメントを寄せていただいております。

"Every time one of our member companies introduces a new SDN solution based on OpenFlow, it reinforces the momentum and market acceptance of this breakthrough technology," said Dan Pitt, Executive Director of the Open Networking Foundation. "We are particularly excited to see the novel approaches our members use to deliver customer value, and we continue to marvel at the innovative enthusiasm of the OpenFlow-based SDN market in Japan."

【訳】「このように我々のメンバー企業が OpenFlow ベースの新しい SDN ソリューションを市場に紹介していく毎に、この革新技術の「勢い」と「市場受容性」はより強化されていくことでしょう。特に、顧客ベネフィットのために我々のメンバー企業が駆使するこのような斬新なアプローチを見ることはエキサイティングなものです。我々は日本の SDN/OpenFlow 市場における革新的な情熱に対してずっと驚かされております。」(ONF エグゼクティブ・ディレクター Dan Pitt 氏)

この度 Pica8 社製スイッチに無償バンドルされる SDN アプリケーション(「DTE(Dynamic Traffic Engineering) Series1.0」)は、最新の OpenFlow 1.3 によって開発されており、SDN/OpenFlow の基本的な特徴を盛り込んだ SDN アプリケーションの「入門編」という位置づけで、以下の機能を持っております。

- ・トポロジー自動検出機能
- ・最短パスルーティング
- ・自動経路バックアップ
- ・Web GUI
- ・トラフィック統計情報管理

NCLC はこの DTE アプリケーションをシリーズ化し、順次、充実した機能を開発・リリースしていく予定です。更にお客様が様々なカスタマイズしたソースコードを共有することのできるコミュニティ・サイトをスタートさせ SDN アプリケーションのイノベーションに貢献していく計画です。

DTE Series 1.0 について

【機能】

- トポロジー自動検出機能
L2 専用パケット (LLDP) をコントローラから定期的送信し、自動的に全体のトポロジー構成を把握することができます。
- 最短パスルーティング
MAC アドレスベースでの通信フロー制御をおこない、ダイクストラアルゴリズムにより最短パス通信をノード間で行うことができます。
- 自動経路バックアップ

リンクダウン・スイッチダウンを検出し自動的にバックアップ経路に切り替えを行うことができます。

- Web GUI

管理 Web ブラウザより物理ネットワークポロジ情報、通信パスの経路表示、各スイッチのステータス情報を表示することができます。

- トラフィック統計情報管理

スイッチのトラフィック統計情報を個別に取得することができます解析することができます。

【仕様】

コントローラ

開発フレームワーク : Trema-edge

対応オペレーティングシステム : Ubuntu 12.04 32bit

CPU : 2GHz,1 コア以上

メモリー : 2GB 以上

ハードディスク : 5GB 以上

ネットワークインターフェース : 1 個以上

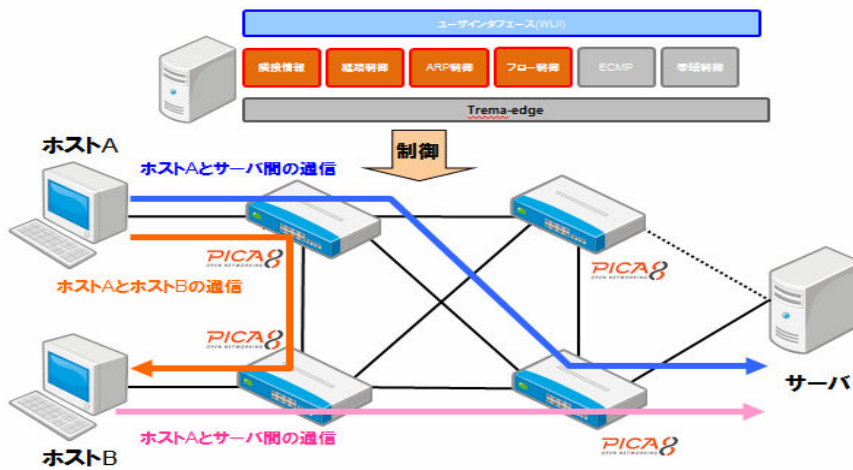
Pica8 スイッチ

対応ハードウェア : P-3290/P-3295/P-3780/P-3920

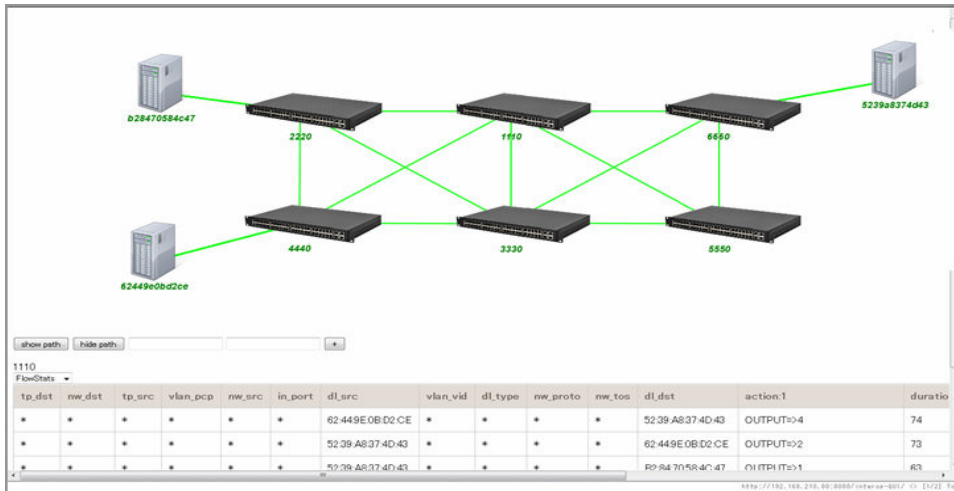
対応 OS : PicOS 2.0 以上

OpenFlow バージョン : 1.3 以上

【システムイメージ】



【スクリーンショット】



【次期バージョン】

マルチテナントサポートした DTE2.0 を年内にリリース予定です。

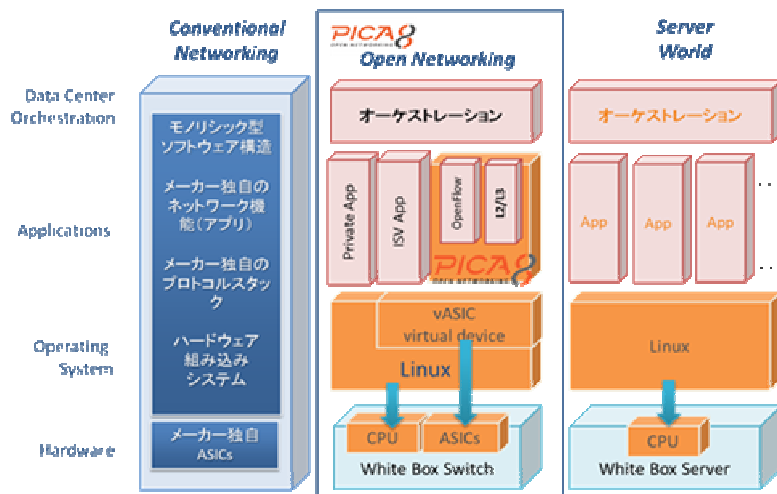
Pica8 社 OpenFlow スイッチについて

NCLC が取扱う米国 Pica8 社の OpenFlow スイッチは日本国内においてこれまで 400 台を超える導入実績を数え、OpenFlow スイッチとしては国内最大級の導入実績を持つ製品です。

最新バージョンの OS (PicOS2.0) において OpenFlow の最新 Version である 1.3 をサポートしております。Pica8 社の OpenFlow スイッチは、同時にハイパフォーマンスな L2L3 スイッチとしても動作し、多くの導入実績をもっております。グローバルな WEB サービスを提供する企業様、あるいは、キャリア様などにおいて、導入コスト面における圧倒的な優位性と、カスタマイズ可能な強力な L2L3 スイッチソフトについて高い評価を頂いております。

Pica8 社の OpenFlow スイッチは、オープン・アーキテクチャに基づいて開発された次世代ネットワークスイッチとして、既存のネットワークを強力にサポートすると共に、SDN/OpenFlow による新しいネットワークアーキテクチャへの現実的な移行を可能にします。

【Pica8 Open Networking Architecture】



<NCLCのSDNソリューションに関するご参考>

下記のURLリンクをご参照ください。

- ・ 無償バンドルキャンペーンについて
<http://www.nclc.co.jp/products/sdn/startup/package/>
- ・ Pica8社 OpenFlow スイッチについて
<http://www.nclc.co.jp/products/sdn/pica8/>

■ **エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社**

<http://www.nclc.co.jp/>

エヌ・シー・エル・コミュニケーション(略称 NCLC)は、海外 IT 製品の輸入・販売・保守ならびにプロダクトインテグレーションを行う IT の専門家集団です。1986 年に設立し、ネットワーク、セキュリティ、ストレージ、CRM を中心として、先進的かつユニークな製品・ソリューションを拡充しており、時代の潮流を見据えて、積極的に事業領域を拡大しています。

◇お問い合わせ先

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

基盤ソリューション事業部 TEL:03-6229-8713 Email:cloud-sales@nclc.co.jp

記載されているロゴ、会社名、製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。